

1月29日「幹総セ業務の一部委託について」の提案を受ける！

1 実施事項 … 車両検修科における以下の業務を部外委託

【1】歯車箱解体

※大歯車軸受押え・押えふた・集電環箱解体、歯車箱清磨、マウントディスク解体（E2・E3系）、部品洗浄・清磨、歯車箱洗浄、大歯車軸受コ口検査。

【2】全般検査車軸磁粉探傷検査

※小歯車軸受押え・押えふた解体、小歯車軸受コ口検査、小歯車・大歯車・車軸磁粉探傷。

【3】全般検査輪軸車輪抜き

2 箇所体制(出面数)

幹総セ	現 行			改 正		
	変形等	交代	計	変形等	交代	計
管 理	29	1	30	29	1	30
一 般	207	6	213	202	6	208

3 実施時期・スケジュール ※6月より関係教育を実施予定。

【1】2025年10月1日 【2】2025年12月1日 【3】2025年12月1日

4 その他

委託予定先：JR東日本テクノロジー株式会社

【主な議論】

- ・ 交検時の車軸探傷は、詳細探傷(波形の判断)も含めて委託との認識だ。盛幹セも詳細探傷まで委託する方向で調整している。当時の労使議論と現状で乖離があるので現場を確認する。
- ・ 全台検工程変更に向けた検証では、大きな問題は発生していない。周期延伸効果による入場両数減に合わせた工程にしていく。工程が伸びるので台モ二検査などを確実に実施していく。
- ・ E7系台検1ブロック化について、台試はE5系と同じ8名体制で検討している。その分、台試ダイヤ変更することで点検時間を確保する。発前点検は休憩時間変更で対応する予定だ。
- ・ 交検本数増について、現時点で転配や交検区所変更は考えていない。盛幹セも厳しい状況だ。
- ・ S51編成の引退時期、次期検測車の導入時期は検討中だ。この場で明確な回答はできない。
- ・ 列車分離の恒久対策は検討中だ。E3系滑走対策の効果もデータを解析しているところだ。
- ・ 新在車の台モ二については、データ解析に時間を要している。早く稼働できるようにしたい。
- ・ 若手社員の出向目的は、グループ会社と一体となった業務体制の効率化や深度化、委託業務を管理する人材育成など様々ある。意識付けはこれまでも行ってきたが改善を図っていく。
- ・ 泊り勤務やコアなしフレックス導入により、働きやすくなったとの声を頂いている。今のところ新たにフレックスを拡大する予定はないが、職場の声を聴きながら対応していく。
- ・ 委託時期や委託内容の変更は、ケースバイケースで対応する。労使議論を蔑ろにはしない。
- ・ 委託に伴う要員効果は5名。出向は考えていない。総勢6名の教育を行う予定。出向受ではなく、圧入や車旋と同様の教育体制となる。机上教育は行うが資格取得はG会社の判断だ。

「あるべき姿」となるように職場から議論を創り出そう！